

平成25年度第14回教育研究評議会議事要旨

日時 平成26年1月8日（水）16時44分開会

場所 第1会議室

出席者 17名

山本学長，和田理事（総務・財務担当副学長），大矢理事（教育担当副学長），奥田副学長，鈴木評議員（言語センター長），平沢評議員（情報処理センター長），穴沢評議員（国際交流センター長），松家評議員（経済学科長），坂柳評議員（商学科長），林評議員（企業法学科長），加地評議員（社会情報学科長），八木評議員（一般教育系学科主任），金評議員（現代商学専攻長），横田評議員（経済学科教授），石黒評議員（企業法学科教授），中村（隆）評議員（社会情報学科教授），山本（久）評議員（言語センター教授）

公欠者 5名

李評議員（ビジネス創造センター長），旗本評議員（アントレプレナーシップ専攻長），プラート評議員（商学科教授），上野評議員（一般教育系教授），瀬戸評議員（アントレプレナーシップ専攻教授）

欠席者 0名

議事に先立ち，事前に配付している前回（12月11日）開催の平成25年度第13回教育研究評議会の議事要旨の確認が行われた。

審議事項

1. 国立大学法人小樽商科大学中期目標・中期計画の変更について

山本学長から，国立大学法人小樽商科大学中期目標・中期計画の変更について，審議資料1に基づき，提案があった。

続いて，審議が行われ，原案どおり承認された。

承認後，山本学長から，本件について承認されたため，平成26年1月27日開催予定の役員会へ付議する旨発言があった。

2. 教員の割愛について

山本学長から，言語センター 菅野 優香准教授について，平成26年4月1日付けで，同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科准教授に採用したい旨依頼があったので審議願いたい旨提案があった。

なお，本件については，平成26年1月8日に開催された言語センター会議で審議・承認されている旨補足説明があった。

続いて，審議が行われ，原案どおり承認された。

承認後，山本学長から，本件について承認されたため，平成26年2月7日開催予定の学部・大学院合同教授会で報告する旨発言があった。

報 告 事 項

1. 平成24年度に係る業務の実績に関する評価結果について

奥田副学長から、平成24年度に係る業務の実績に関する評価結果について、報告があった。

〈報告内容〉

○平成24事業年度の業務の実績に関する報告書については、原案が文部科学省から送付され、平成25年10月16日開催の本会議で、原案については特に意見を申し立てないが、直接評価に関わらない字句の修正依頼をした旨を報告したところである。

○このたび、文部科学省国立大学法人評価委員会から、本学が依頼した字句修正がなされた評価結果で確定した旨通知があったことを報告する。

○また、平成25年11月26日に文部科学省国立大学法人評価委員会から事務連絡があり、「第2期中期目標期間における各年度終了時の評価に係る実施要領」及び「第2期中期目標期間の業務実績評価に係る実施要領」を一部改正するとともに、「平成25事業年度の業務実績報告書（様式例）」を定める旨通知があった。

○内容は、文部科学省において平成25年度から平成27年度の「改革加速期間」の評価においては、「国立大学の機能強化」を踏まえつつ大学の取組内容を社会にわかりやすく発信するために、業務実績報告書の「全体的な状況」にまとめて記載するよう様式が定まったということである。

○本学においても機能強化に向けた取組を推進し、積極的に報告していく。

次回の会議日程

次回の教育研究評議会は、2月7日（金）に開催する予定である。

以 上